

医療安全ニュース 11期/4号

医療安全推進週間 ご存じですか？



本年度から「PSAの普及・啓発を図るため、医療安全向上のために取り組んでいること、工夫していること等を記入し、オリジナルのポスターを掲示しましょう！」とされています。当院では「各部署別医療安全年間計画を意識し実践する」などとなるでしょうか。ちなみに自由記載欄のないポスターも用意されており下記URLからダウンロードできます。

参考・引用
・厚生労働省 H.P. 令和2年度「医療安全推進週間」について：
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/k/enkou_iryuu/iryuu/iryouanzen2020.html.
2020/10/21.

● 日本の医療安全元年(1999年～2001年)を振り返る

1. 1999年1月横浜市大病院での肺手術と心臓手術の取り違い事故、同年2月都立広尾病院で消毒薬血管内誤注入死亡事故が発生、センセーショナルな報道とともに国民の感心を大きく呼び社会問題として取り上げられました。
2. 2000年2月には京大病院で人工呼吸器の加湿器へのエタノール誤注入死亡事故があり、同年4月東海大病院で静脈内への内服薬誤注入死亡事故が発生しました。重大事故が続いた経緯もふまえ、1999年までの医療事故は「個々人で注意し絶対起こしてはならない」とされてきましたが、2000年以降「人は誰でも間違える、医療事故は起こりえること」として捉え、「チームや組織全体の在り方を改善し事故を防止することが必要」とされました。
3. 2001年3月、厚労省では本年を患者安全推進年とし **Patient Safety Action:PSA**(後述)を推進、医療安全推進室が設置され医療安全対策会議が開催されました。医療事故がクローズアップされ医療従事者自身にとっても衝撃的な事故が発生した1999年は「日本での医療安全元年」と呼ばれることが多い様です。

● PSA：患者の安全を守るための医療関係者の共同行動(2001年)とは？

1. 趣旨として、「医療事故防止のため、これまで、医療関係者（医師、歯科医師、薬剤師、看護師等の医療従事者や病院関係者、医薬品等の製造、販売に関わる事業者等）によって種々の努力が行われてきたが、未だ、国民の不安を払拭するには至っていない。そのため、患者の安全を守ることを旨とし、さらに幅広い関係者の参画の下に、体系的かつ広範な取組を推進することとする。」となります。
2. ここで安全な医療を提供するための10の要点として以下が策定されました。**①**根づけよう安全文化 **②**みんなの努力と活かすシステム **③**安全高める患者の参加対話が深める互いの理解 **④**共有しよう私の経験 活用しようあなたの教訓 **⑤**規則と手順 決めて守って 見直して **⑥**部門の壁を乗り越えて 意見かわせる職場をつくらう **⑦**先の危険を考えて 要点おさえてしっかり確認 **⑧**自分自身の健康管理 医療人の第一歩 **⑨**事故予防 技術と工夫も取り入れて **⑩**患者と薬を再確認 用法・用量気をつけて **⑪**整えよう療養環境 作りあげよう作業環境。以上10の要点は現在も変わっていません。
3. 上記①～⑩は過去発行済の医療安全ニュースでも個別テーマで解説しています。

● 令和2年度「医療安全推進週間」について

1. PSAの一環として、医療機関や医療関係団体等における取り組みの推進を図り、国民の理解や認識を深めていただくことを目的とし、11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間を「**医療安全推進週間**」と定め、医療安全向上の様々な取り組みを進めるとされています。今年は**11月22日(日)～11月28日(土)**です。
2. 日常から実践している医療安全(患者安全)をさらに意識する期間と捉え、自部署の**医療安全年間計画**や**医療安全ニュース**など再確認いただければと思います。

職員の皆様へ：お読みにになりましたら下記へサインをお願いします。院内ラウンド時に確認させていただきます。